

## 平成 30 年度札幌医科大学医学部同窓会 講演会・総会・懇親会を顧みて

第 45 回札幌医科大学医学部の講演会・総会・懇親会は平成 30 年 7 月 14 日(土)に札幌プリンスホテルパミール館で開催されました。今回は参加者が増えるなどで会場の設定に工夫を凝らし、また幹事会では資料配布をやめ、スライドによる説明としました。

講演会では、38 期の石川博基先生が総合司会を務め、赤坂憲先生(48 期)の座長で 48 期花之内健仁先生(大阪産業大学工学部 教授)から「関節外科治療における医工連携の取り組み」と題する講演が、引き続き、磯貝哲先生(38 期)の座長で 38 期山内正憲先生(東北大学医学部麻酔科学 教授)「麻酔科学からスポーツペインクリニックへ」と題する講演が行われました。花之内先生の講演は工学から見た医療(例えば骨切りロボット)という観点で大変新鮮味のあるものでした。山内先生は医大学生時代からのアスリートという背景が納得できる講演でした。

総会では、新たにご逝去が判明した 49 名の会員氏名が西里副会長により奉読され、ご冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。総会の議長は遠藤副会長が担当し、スライドを使用して幹事会にて協議された内容を報告しました(詳細はホームページ幹事会議事録を参照ください)。田中会長より 38 期吉田雅喜先生(八雲総合病院副院長)に社会福祉貢献賞が授与されました。受賞理由は北渡島、檜山の小児中核医療機関としての重責を担い、八雲感染対策ネットワークを創設し、予防医療に貢献されたことによるものです。

その後全員で記念写真を撮影し、懇親会となりました。

懇親会では 38 期加藤文博先生が進行係を務め、田中会長、塚本理事長・学長、三浦医学部長から挨拶を戴いた後、西里副会長の乾杯の音頭で会が始まりました。秋野元学長、島本前学長からスピーチを戴きました。会の終わりに 38 期を代表して加藤文博先生から挨拶がありました。最後の乾杯は遠藤副会長が務めました。

今回は、総会／懇親会参加者は 99 名と近年最大の人数で盛会裡に終了しました。